

城陽市障がい者自立支援協議会

第7回 地域支援部会報告書

報告者 部会長 障害者生活支援センター プラム 岸見 千絵

標記について下記のとおり報告します。

日 時	平成 25 年 6 月 18 日 (水) 15 : 00 ~ 16 : 30
場 所	特定非営利活動法人で・らいと 多目的室
出席者	あっぷ、あんびしゃ、城陽作業所、チェリー工房、山城北保健所 障害者生活支援センタープラム (7 名)
検討課題	「夜間支援の現状と求められる資源について」

【議事録】

1. はじめに

- ・障がい者が地域で生活する際、日中は各事業所の手厚いケアがあるが夜間になると事業所を始め行政、病院等頼れるところが閉所し、困ったことがあっても相談できない、という事態になることがある。
- ・緊急時や緊急ではなくても困ったことが起こった時に連絡が取れる「安心コールセンター」というものが城陽市に出来たとしたら、どんな機能が求められるかを話し合った。

2. 「夜間支援の現状について」

- ・各事業所での夜間支援の体制について現状報告を行った。
- ・通所、入所、グループホーム等形態はさまざまであり、事業所の規模によっても違う。
- ・複数の入所施設や GH を持つ事業所は入所施設の夜間支援体制があるので対応が可能であるが、救急搬送に付き添う場合には体制が薄くなる。
- ・通所の場合では、たまたま夜遅く事業所にいた所長が電話を取ったため対応が出来た、という事例などもあり、確実な対応は困難な状況である。

3. 「求められる社会資源について」

- ・「安心コールセンター設置に向けての検討委員会」に地域支援部会として意見を出す為どのような機能が安心コールセンターにあれば理想的か話し合った。